株主通信

No. 167 第102期 第2四半期ご報告

（平成20年 4月 1日～平成20年 9月30日）

パナソニック株式会社

株主通信

No.167　第102期第2四半期ご報告

平成20年4月1日～平成20年9月30日

株主の皆様へ……1

特　　集……3
「Panasonicブランドの目指す姿」

新製品ハイライト……7

連結決算の概要……9
業績の推移
売上高の推移など
連結貸借対照表　連結損益計算書
連結キャッシュ・フロー計算書

トピックス……13

会社概要・株式情報……15
会社概要　株式の状況
株式事務のご案内　他

ホームページのご案内……17
個人投資家向けホームページのご案内　他

株主の皆様へ

取締役社長

大坪文雄

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。平素は格別のご高配、ご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申しあげます。

10月1日、当社は社名を改め、パナソニック株式会社として出発いたしました。ブランド統一も加速して進めています。

いよいよ世界中で社名も、事業も、商品も、すべてがパナソニックと呼ばれるようになりました。たいへん意義深く感じると同時に、歴史ある社名・ブランドを変えた責任の重さに身の引き締まる思いです。

もちろん、名前を一つにしたことはスタートに過ぎません。プラスの効果を、具体的に、一つひとつの事業や商品で積み重ねていかなければならないと決意を新たにしております。

世界中の全社員が一つになって、「ひとつの理念、ひとつの名前」のもとに結集し、大胆な変革や積極果敢な挑戦で、世界に貢献する素晴らしい事業を展開してまいります。どうぞご期待ください。

平成20年度は、3ヵ年の経営計画である「GP3計画」の中間年度として、確実に成果をあげて計画達成への流れをつくる年にするべく、「成長を軌道に乗せる」、「収益体質を強化する」の2点を基軸に、「海外二桁増販」、「4つの戦略事業」、「モノづくりイノベーション」、「エコアイディア戦略」を重点テーマとして、取り組みを推進しています。

当第2四半期(4月-9月)のエレクトロニクス業界は、北京オリンピックによる薄型テレビなどの需要増はありましたが、資源・エネルギー価格の高騰やデジタル商品を中心とした価格低下などにより、国内外ともに厳しい状況が続きました。このような経営環境のもと、当第2四半期の連結売上高は、4兆3,437億円(前年同期比4%減)となりました。デジタルAV商品などが売上を伸ばしましたが、前年同期の売上高には平成19年8月より持分法適用関連会社となった日本ビクター(株)およびその連結子会社が含まれていた影響が大きく、減収となりました。

利益につきましては、価格競争激化や円高に加え、原油・原材料価格の高騰の影響はありましたが、材料費を中心とした経営全般にわたる徹底したコスト合理化、日本ビクターの影響等を除く実質販売増の効果などにより、営業利益は2,282億円(前年同期比4%増)と第2四半期としては7年連続の増益となりました。また、営業外損益で早期退職一時金が減少したことなどにより、税引前利益は2,033億円(前年同期比8%増)となり、当期純利益も1,285億円(前年同期比22%増)と、いずれも前年実績を上回りました。当期純利益は、過去最高となりました。

配当については、株主の皆様からの投下資本に対するリターンとの見地から、連結業績に応じた利益配分を基本とします。平成19年度からの「GP3計画」における成長戦略の成果として、連結当期純利益をベースに、安定的かつ継続的な配当成長をめざしています。配当性向については、連結当期純利益に対して30～40%を目安としています。

平成20年度は、中間配当を1株当たり22円50銭とし、期末配当22円50銭と合計で1株当たり45円の年間配当を実施する予定です。

グローバルな金融危機の連鎖、急激な為替や株価の変動等の影響により、実体経済も悪化の傾向にあり、当社を取り巻く経営環境の先行きは、不透明感が日増しに強まっておりますが、危機感を持って事業に取り組み、着実に実績を積みあげてまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、引続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成20年11月

全社員の知恵・心・思い、そしてパワーを世界中のお客様にくらしを輝かせるアイ

当社は創業90周年という節目の年に、次なる飛躍・発展に向けて、世界中の全社員がさらに強く結束していきたい、世界中の社員一人ひとりの努力をあまさずに結集していきたい、という強い思いのもと、社名・ブランドを「Panasonic」に統一しました。「ひとつの理念、ひとつの名前」のもとに結集し、一層輝く、世界に貢献するブランドを目指してまいります。

Panasonicらしさを全社員が意識し、追求し、発揮し続けていく

当社は創業以来、不変の経営理念の下で、世界中の人々の生活に密着した商品やサービスを提供してまいりました。その中で培われてきた当社らしさは、「お客様のくらしの一歩先のライフスタイルを提案すること」に集約されます。

この当社らしさを発揮し続けていくためには、社員一人ひとりが個人の活動レベルからベクトルをしっかりひとつに合わせていくことが重要であると考え、今回、社名変更・ブランド統一と合わせて、全世界の社員が共有するべき「Panasonicブランドの目指す姿」を定義いたしました。

ブランドスローガンは、当社の企業姿勢を表すものとして当社経営理念のエッセンスを凝縮したものです。

ブランドプロミスは、このブランドスローガンに込められた思いを、お客様への約束としてまとめたものです。

Panasonicは、社名変更・ブランド統一を機に、世界中のさまざまな事業に携わる全ての社員の力を結集し、今まで以上に高い評価をいただける商品やサービスを世界中のお客様に次々に提供してまいります。

これからもPanasonicへの一層のご支援をよろしくお願いいたします。

Panasonicブランドに結集し、ディアをご提案！

ブランドスローガン

Panasonic
ideas for life

ブランドプロミス

Panasonicが創るのは、くらしを輝かせる「アイディア」です。
世界中の人々に明日のライフスタイルを提案し、
地球の未来と社会の発展に貢献しつづけます。

特集 Panasonicブランドの目指す姿

社員一人ひとりが、いろいろな「アイディア」を

私たちは、

時代の動きを敏感にとらえ、常に一歩先ゆく
アイディアで、お客様の期待を超える
新しい価値を創造しつづけます。

●「快適」と「省エネ」の探求エアロボ
エアコンXシリーズ

インバーター冷暖房除湿タイプ　ルームエアコン
CS-X289A-S(ブライトシルバー(限定色))

まずは人の動きのパターンと活動量を調査しました

ホームアプライアンス社
エアコンビジネスユニット
先行開発グループ
機能チーム　チームリーダー
藤社輝夫さん

人の動きを赤外線センサーで感知します

ホームアプライアンス社
エアコンビジネスユニット
先行開発グループ
機能チーム　主任技師
河野裕介さん

Panasonic
ideas for life

私たちは、

お客様一人ひとりが真に求める
憧れのライフスタイルを、広い視野で洞察し、
研ぎ澄まされた商品で具現化していきます。

五感を震わせる映像を追求しお客様に最高の感動をお届けします

AVCネットワークス社
システム事業グループ
システムAVビジネスユニット
開発グループ　カメラ開発チーム
主任技師
千秋久子さん

私たちは、

真摯にお客様と向き合い、
誰もが心から満足し、安心して長く
つきあえる品質を提供しつづけます。

優れた取扱説明書でパナソニックファンを増やします

ホームアプライアンス社
IHクッキングヒータービジネスユニット
技術グループ　技術管理チーム
主任技師
山田とし子さん

パナソニックの商品に込めて創り上げます。

ドメイン間の連携による技術の融合

薄型大画面テレビの高画質技術と、携帯電話が融合した「VIERAケータイ」P905i

薄型大画面テレビ「VIERA」が培ってきた高画質化技術を搭載した、携帯電話「P905i」。携帯電話と薄型大画面テレビという、これまで交わる機会の少なかった商品の担当者が、組織を越えて技術を融合し、強い商品を生み出しました。

パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社のP905i開発メンバー

AVCネットワークス社 LCDテレビ技術グループのP905i開発協力メンバー

FOMA P905i（ヨコオープンスタイル）

※現在までにVIERAケータイは6機種が発売されています

「一歩先のエコ」を世界中のみなさまへ

私たちは、地球環境を大前提に考える企業活動を通して、真に豊かな未来を実現していきます。

eco ideas

私たちは、省エネ商品を、おとどけします。

私たちは、CO_2の排出量を減らします。

私たちは、エコ活動を世界中にひろげます。

新製品ハイライト

家まるごと
パナソニック

地球にやさしく、

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

ハリウッドで培った技術を統合し
情感豊かで繊細な映像美をお届けするPZR900シリーズ

1. 大容量1TB(テラバイト)ハードディスク(HDD)内蔵
2. 「らくらくアイコン」で簡単操作　YouTube※1も楽しめる
3. 「シネマライブ画質」で鮮明で繊細な映像美を表現

TH-50PZR900

共通リモコン

新・ヒューマンビエラ
VIERA

デジタルカメラ

「ミラーレス構造」採用
世界最小・最軽量※2 新世代デジタル一眼カメラ
かんたん操作を実現する「おまかせiA」搭載

1. 「ミラーレス構造」採用で世界最小・最軽量※2ボディを実現
2. 自由な撮影を可能にする「Wライブビュー」
3. 自動で撮影状況を判断する「おまかせiA」搭載

DMC-G1K-K
(コンフォートブラック)

DMR-BW930-K
(ブラック)

DIGA

ハイビジョンブルーレイディスクレコーダー

アクトビラ対応だから
家にいながら映画を好きな時に楽しめる

1. フルハイビジョンのままで5.5倍の長時間録画※3
2. 使いやすさにさらにこだわった簡単・便利機能
3. 様々な機器と連携して楽しめる、豊富なネットワーク機能

※1:YouTubeロゴおよびYouTubeは、米YouTube, LLCの商標です
YouTubeのコンテンツは、YouTube, LLCにより独自に運営されています
※2:平成20年9月12日現在　可動式液晶搭載レンズ交換式デジタルカメラとして
※3:HLモード録画時　BSデジタルHD放送(24Mbps)DRモード録画時との比較において

お客様に快適な暮らしをお届けするパナソニックの商品です

スチームオーブンレンジ

焼き物と煮物料理を庫内で同時調理する「３つ星ビストロ」

1. 新開発「光」で調理する「光ヒーターシステム」
2. 2品同時調理可能な「合わせ技セット」
3. ワイド液晶＆大きな文字で見やすい表示部

NE-R3000-R
（マホガニーレッド）

ルームエアコン

省エネNo.1※1の効率と快適さを実現

1. 「nanoe（ナノイー）」でうるおい美肌へ※2
2. 「いるとこサーチ」搭載の気流ロボットで、ひとりひとりに快適気流
3. 「フィルターお掃除ロボット」がさらに進化し、掃除の手間を軽減※3

CS-X409A2-W
（クリスタルホワイト）

NR-F553T-S
（ブライトシルバー）

Utility

NA-VR5500L-W
（クリスタルホワイト）

トップユニット冷蔵庫

おいしさそのまま「新鮮凍結」※4冷蔵庫

1. 消費電力量を約30%※5低減し、CO_2も削減
2. 455Lの設置サイズで550Lの大容量※6を実現
3. 「新鮮凍結ルーム」搭載で、うまみ・鮮度を逃がさず冷凍

ななめドラム洗濯乾燥機

洗浄力がさらにアップ　しかも、省エネ・節水No.1※7

1. 新開発の「ジェットダンシング洗浄方式」を採用し洗浄力15%向上※8
2. 新「ヒートポンプ乾燥方式」で、省エネ・節水No.1※7
3. 「nanoe（ナノイー）」で、衣類の除菌※9・消臭※10・洗濯槽のカビ抑制※11

※1：平成20年9月16日現在　4.0kWクラス家庭用ルームエアコン　APF通年エネルギー消費効率）6.3
※2：美肌効果は、季節・周囲環境（温度・湿度）、使用時間、個人によって異なります
※3：フィルター掃除は自動で行いますが、ホコリや油汚れが多い環境等でご使用になる時は、取り外して水洗い等をすることをおすすめします
※4：新鮮凍結使用時は約20%消費電力量が増加します。なお、消費電力量は使用条件により異なります
※5：平成19年度当社機種NR-F532T（580kWh/年）と新製品（F553T（420kWh/年）の年間消費電力量比較
※6：平成16年度当社トップユニット非採用機種NR-F461Aと新製品NR-F553Tとの定格内容積の比較　NR-F461A：455LとNR-F553T550L
※7：平成20年9月16日現在　洗濯乾燥機（定格6kg）において消費電力量960Wh　使用水量58L
※8：ジェットダンシング洗浄により洗剤液の衣類浸透力向上による洗浄力向上　（社）日本電機工業会・自主基準「洗濯性能評価法」にて定格9kg衣類　当社平成19年度機種　NA-VR2200L/Rとの比較　衣類や汚れの種類によって効果が異なる場合もあります
※9：試験機関：（財）日本食品分析センター　試験方法：菌付着布の菌の減少率測定にて評価　除菌の方法：ナノイーによる　対象部分：ドラム内の衣類　試験結果：菌の減少率99%以上
※10：試験機関：近江オドエアーサービス（株）　抑制の手段：ナノイーによる　測定方法：タバコ臭を6段階臭気強度表示法にて評価　試験結果：初期3.9　ブランク3.4　ナノイー2.4
※11：試験機関：（財）日本食品分析センター　試験方法：洗濯槽に取り付けたカビ付着布の抑制確認　カビ抑制の方法：ナノイーによる　対象部分：洗濯槽　試験結果：発育なし

連結決算の概要

当第2四半期（平成20年4月1日～平成20年9月30日）は、デジタルAVCネットワーク分野の売上高は、1兆9,690億円（前年同期比3%増）となりました。このうち、映像・音響機器部門は、薄型テレビやDVDレコーダーなどの売上が好調で、前年同期比14%増となりました。情報・通信機器部門は、カーエレクトロニクス機器などの売上が低調で、前年同期比6%減となりました。

アプライアンス分野の売上高は、エアコンや冷蔵庫などの売上が堅調で、6,541億円（前年同期比2%増）となりました。

電工・パナホームの売上高は、8,372億円（前年同期比1%減）となりました。松下電工（現、パナソニック電工）は、健康器具などの電器事業の売上が低調で減収となりました。また、パナホームは、住宅市況の悪化などにより減収となりました。

デバイス分野の売上高は、一般電子部品や電池などの売上が不振で、5,419億円（前年同期比8%減）となりました。

その他分野の売上高は、FA機器の売上が低調で、3,415億円（前年同期比2%減）となりました。

利益につきましては、価格競争激化や円高に加え、原油・原材料価格の高騰の影響はありましたが、材料費を中心とした経営全般にわたる徹底したコスト合理化、日本ビクターの影響等を除く実質販売増の効果などにより、営業利益は2,282億円となりました。また、営業外損益で早期退職一時金が減少したことなどにより、税引前利益は2,033億円となり、当期純利益も1,285億円と、いずれも前年実績を上回りました。

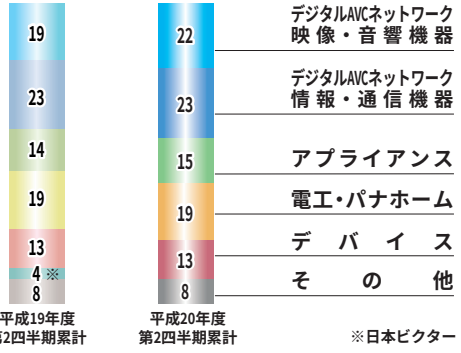
業績の推移

	平成19年度第2四半期累計（平成19年　4月1日～平成19年　9月30日）	平成20年度第2四半期累計（平成20年　4月1日～平成20年　9月30日）
売上高（億円）	45,253	43,437
国内（構成比%）	21,878 (48)	21,106 (49)
海外（構成比%）	23,375 (52)	22,331 (51)
税引前利益（億円）	1,876	2,033
当期純利益（億円）	1,051	1,285
基本的1株当たり当期純利益（円）	49.32	61.58
総資産（億円）	75,673	72,994
株主資本（億円）	39,062	36,795
1株当たり株主資本（円）	1,842.45	1,776.83

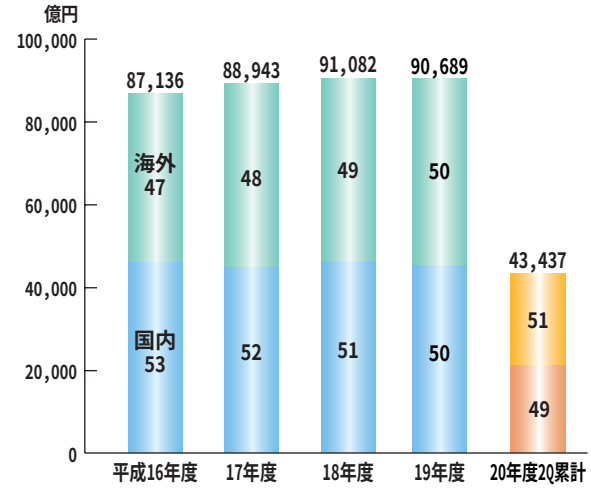
（注）1．当社の連結決算は米国会計基準に準拠しております。
2．億円単位の記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。
3．当第2四半期累計の連結対象会社数は537社、持分法適用関連会社数は137社となっております。
4．日本ビクター（株）およびその連結子会社は平成19年8月から持分法適用関連会社となっております。これに伴う過年度実績の変更はしておりません。なお、日本ビクター（株）は平成20年10月1日付で（株）ケンウッドと株式移転の方法により、共同持株会社を設立し、経営統合しました。

分野別売上構成比の推移

（単位　%）

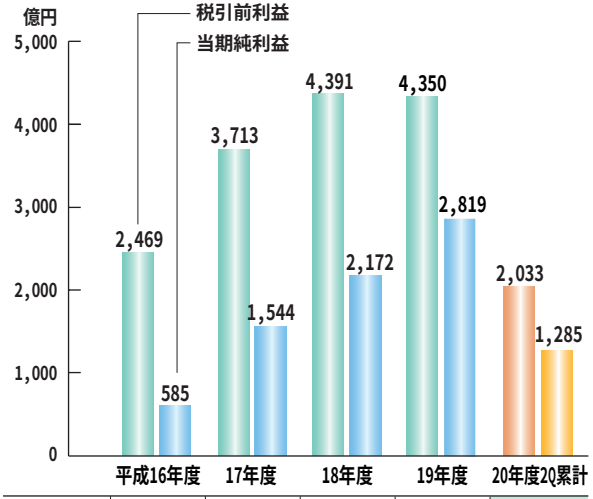


売上高の推移



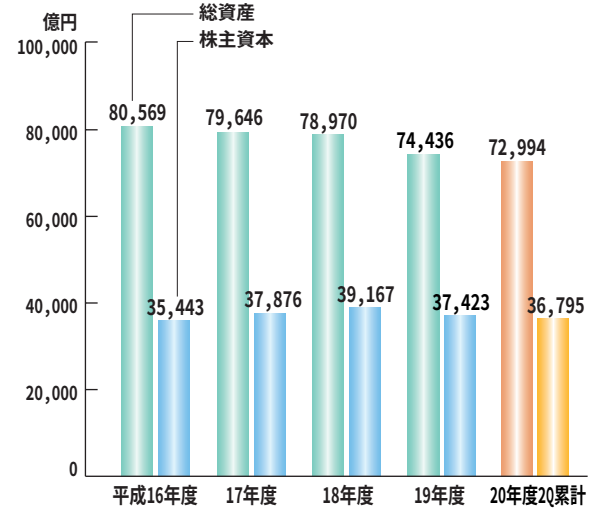
	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度2Q累計
前年比	116	102	102	100	96 %

税引前利益・当期純利益の推移



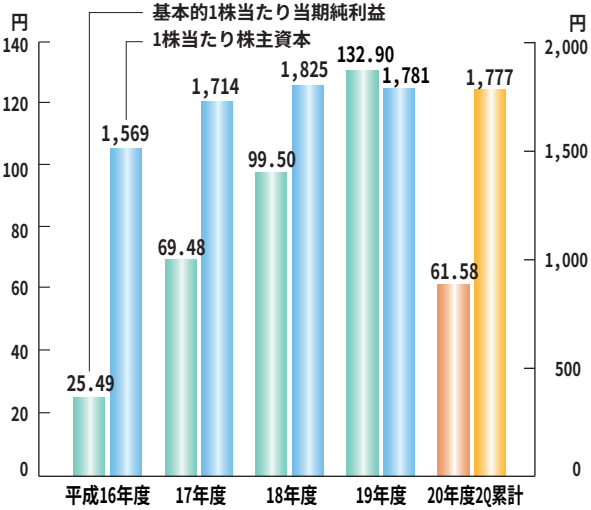
	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度2Q累計
売上高税引前利益率	2.8	4.2	4.8	4.8	4.7%

総資産・株主資本の推移



	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度2Q累計
株主資本比率	44.0	47.6	49.6	50.3	50.4%

基本的1株当たり当期純利益・1株当たり株主資本の推移



2Q累計＝第2四半期累計

連結貸借対照表

（単位　百万円）

	平成19年度第2四半期末（平成19年9月30日現在）	平成20年度第2四半期末（平成20年9月30日現在）		平成19年度第2四半期末（平成19年9月30日現在）	平成20年度第2四半期末（平成20年9月30日現在）
流動資産	3,902,529	3,651,944	流動負債	2,556,471	2,448,256
現金及び現金同等物	1,222,517	973,133	短期借入金	97,053	157,828
定期預金	36,738	98,867	支払手形	65,164	40,924
短期投資	87,768	17,374	買掛金	816,812	887,874
受取手形	63,114	60,490	その他の流動負債	1,577,442	1,361,630
売掛金	1,038,314	1,017,179	固定負債	604,264	660,444
貸倒引当金	△25,843	△22,020	社債及び長期借入金	206,799	262,152
棚卸資産	934,967	999,454	その他の固定負債	397,465	398,292
その他の流動資産	544,954	507,467	少数株主持分	500,411	511,145
投資及び貸付金	1,191,754	777,983	資本金	258,740	258,740
有形固定資産	1,578,424	1,840,318	資本剰余金	1,217,841	1,217,901
その他の資産	894,595	1,029,134	利益準備金	90,020	92,262
			その他の剰余金	2,808,520	3,033,928
			その他の包括利益(△は損失)累積額	88,374	△253,215
			自己株式	△557,339	△670,082
			資本合計	3,906,156	3,679,534
資産合計	7,567,302	7,299,379	負債、少数株主持分及び資本合計	7,567,302	7,299,379

（注）1．米国会計基準に従い、連結貸借対照表上、少数株主持分は負債の部と資本の部の中間に独立の項目として表示しております。
2．その他の包括利益（△は損失）累積額の内訳：

	平成19年度第２四半期末	平成20年度第２四半期末
為替換算調整額	△96,649	△213,054
有価証券未実現損益	141,058	20,244
デリバティブ未実現損益	1,052	4,475
年金債務調整額	42,913	△64,880

連結損益計算書

（単位　百万円）

	平成19年度第2四半期累計（平成19年4月1日～平成19年9月30日）		平成20年度第2四半期累計（平成20年4月1日～平成20年9月30日）	
売上高	4,525,305	100.0%	4,343,711	100.0%
売上原価	3,225,568	71.3	3,098,704	71.3
売上総利益	1,299,737	28.7	1,245,007	28.7
販売費及び一般管理費	1,079,743	23.8	1,016,853	23.4
営業利益	219,994	4.9	228,154	5.3
営業外損益（△は損失）	△32,353	△0.8	△24,858	△0.6
（受取利息）	(17,315)	(0.4)	(14,745)	(0.3)
（受取配当金）	(5,568)	(0.1)	(6,231)	(0.2)
（支払利息）	(△10,580)	(△0.2)	(△11,314)	(△0.3)
（早期退職一時金）	(△15,839)	(△0.4)	(△593)	(△0.0)
（その他）	(△28,817)	(△0.7)	(△33,927)	(△0.8)
税引前利益	187,641	4.1	203,296	4.7
法人税等	70,864	1.6	66,177	1.5
少数株主利益	5,012	0.1	12,104	0.3
持分法による投資利益（△は損失）	△6,643	△0.1	3,477	0.1
当期純利益	105,122	2.3	128,492	3.0

（注）　営業外損益の早期退職一時金」は、国内・海外グループ会社の早期退職に伴う費用です。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位　百万円）

	平成19年度第2四半期累計（平成19年4月1日～平成19年9月30日）	平成20年度第2四半期累計（平成20年4月1日～平成20年9月30日）
営業活動に関するキャッシュ・フロー	181,689	136,264
投資活動に関するキャッシュ・フロー	15,517	△269,967
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△106,943	△116,999
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△10,944	9,019
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△93,441	―
現金及び現金同等物の純増減額（△は減少）	△14,122	△241,683
現金及び現金同等物期首残高	1,236,639	1,214,816
現金及び現金同等物期末残高	1,222,517	973,133

トピックス

北京オリンピックで
過去最大規模の機器を納入

TOP(The Olympic Partnerスポンサーである当社は、8月8日から24日まで中国・北京で開催された北京オリンピック競技大会で中国の７都市の37競技会場や、オリンピック関連施設に大型映像表示装置「アストロビジョン」やプロ用音響システム「ラムサ」シリーズ、薄型テレビ、監視・防犯カメラシステムなどを納入しました。その規模は、アテネオリンピックの約1.7倍と、過去最大となりました。

また、オリンピック史上初めてハイビジョン(HD)が標準の国際映像記録フォーマットとなり、当社では、その公式放送機器として「P2 HD」シリーズを納入しました。すべての競技がHDで撮影され、国際放送センターから全世界の放送局に配信されました。

会場、放送、また家庭まであらゆるシーンでオリンピックを支えた実績は、オリンピックTOPスポンサーとしてのパナソニックを世界に向けてアピールする絶好の機会となりました。

メインスタジアムである国家体育場(鳥の巣)の「アストロビジョン」と「アレイスピーカー」

放送用半導体メモリー・ニュース取材システム「P2 HDシリーズで撮影されたHD映像が全世界の放送局に配信された

トピックス

Beijing 2008 Panasonic Official Worldwide Olympic Partner 北京オリンピックとパナソニック

アストロビジョンがセレモニーを盛り上げる
ロンドンでのオリンピック引き継ぎ式典

8月24日の北京オリンピック閉会式では、平成24年の夏季オリンピック開催地である英国・ロンドンへの引き継ぎイベントが行われ、バッキンガム宮殿の正面広場でセレモニーが開催されました。

当社は、広場の中央、その左右に「アストロビジョン」2面を納入し、サブ会場であるセント・ジェームズ公園にも、車載「アストロビジョン」を設置しました。画面には、北京オリンピックの閉会式の模様のほか、メダリストへのインタビューなど、イベントの映像が映し出され会場を大いに盛り上げました。これは、ロンドンオリンピック組織委員会関係者等への当社機器の強いアピールとなりました。

当社グループの社員が
北京パラリンピックで活躍

9月6日から17日まで中国・北京で開催された北京パラリンピック競技大会に、パナソニック吉備(株)の木村禎宏さんが「車いすテニス・クァードの部」で出場しました。

1回戦は9月9日に行われ、競技場に駆け付けた中国で勤務している社員およそ30人が大声援を送る中、木村さんは2時間におよぶ激戦の末、スウェーデン代表の選手を2対1で下しました。天候不順もあって北京入り後体調管理に苦労しつつも、「車いすテニス・クァードの部」の日本代表として初勝利という、すばらしい殊勲を打ち立てました。

試合中の木村禎宏さん

全国6都市7拠点で

エコアイディア　ワールドを開催

エコアイディアワールドで展示された巨大ジオラマ

当社は、平成20年4月から7月にかけて、東京、大阪、福岡、名古屋、仙台、北海道の全国6都市7拠点で全国環境展示会「エコアイディア　ワールド」を開催し、CO_2を減らすエコアイディアがつまった巨大ジオラマを日本各地で展示しました。ラストは、北海道洞爺湖サミットにあわせ、玄関口である新千歳空港で開催し、鴨下前環境大臣はじめ多くのサミット関係者にご覧いただきました。

男子プロゴルフツアー

パナソニックオープンを開催

優勝した谷原秀人選手にトロフィーを渡し、握手する大坪社長

当社は、9月25日から28日にかけて、アジア太平洋ゴルフ連盟・財団法人日本ゴルフ協会と共催で、「アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ　パナソニックオープン」を茨木カンツリー倶楽部・西コースで開催しました。

当社はこの大会を通して、環境や子どもの育成、社会貢献などの取り組みも併せて実施し、「環境」では、使用済みのてんぷら油を再生燃料として活用したECOバスを、阪急バスの協力を得て運行。「子供の育成」では、地元のジュニアゴルファーを招待し、選手のエスコートを体験してもらった後、試合観戦を行いました。

「社会貢献」では、石川遼選手との合成によるツーショット写真撮影コーナーにおいて、撮影費として一人500円以上のチャリティーへの協力をお願いしました。

これらの取り組みによって、訪れた多くのギャラリーに当社の企業姿勢を印象付けました。

世界中からアドバイザーが集結し

第１回グローバルアドバイザー会議を開催

当社は9月11日に、東京・有明のパナソニックセンター東京で、国内外の閣僚経験者や有識者をアドバイザーとして招き、「第１回グローバルアドバイザー会議」を実施しました。会議には、ポール・タグリアブ(アメリカ)、ルイス・フェルナンド・フルラン(ブラジル)、アレクサンドル・ヴォローシン(ロシア)、アジャイ・ドゥア(インド)、福井俊彦、岡本行夫(日本)の各先生方が出席されました。

当社からは、大坪社長のほか経営幹部らが出席し、社名変更・ブランド統一を機に、当社が更なるグローバル化を目指していく中で、国際的・経済的な視点で、各国政治・経済の実情などに詳しいアドバイザーから、事業戦略に対する貴重なご意見をいただきました。

「パナソニックスカラシップ制度」を通じ、

アジアの国々の人材育成に貢献

パナソニック　スカラシップ制度は、当社の80周年記念事業の一つとして平成10年にスタートしました。この10年間の終了生・在籍奨学生は257名を数えます。

この制度は、アジアから日本の理工系大学院へ私費留学する学生を対象としたものであり、アジア各国から選抜された優秀な学生たちには、将来アジアの発展に貢献することへの期待が込められており、関係諸国や日本の大学関係者からも高い評価を受けています。この度、当社90周年記念事業の一つとして、初めて同窓会を開催しました。200名の奨学生が参加し、今後の更なるネットワークの強化とアジアの発展への思いを確認しました。

会社概要・株式情報

会社概要

- 社　　名　パナソニック株式会社
- 英 文 社 名　Panasonic Corporation
- 本　　社　〒571-8501　大阪府門真市大字門真1006番地　　TEL(06)6908-1121
- 設 立 年 月　昭和10年12月(創業　大正7年3月)
- 資　　本　金　2,587億4,048万円
- 従 業 員 数　44,743名(平成20年9月30日現在)

株式の状況　(平成20年9月30日現在)

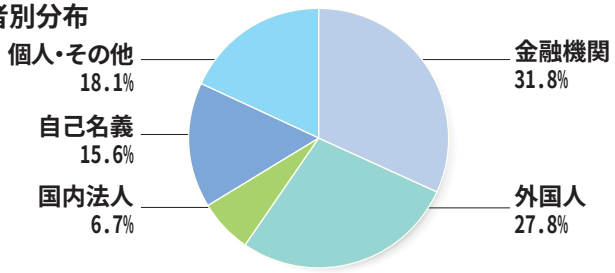
発行済株式総数…　2,453,053,497株
株　主　数　……228,503名

■大株主

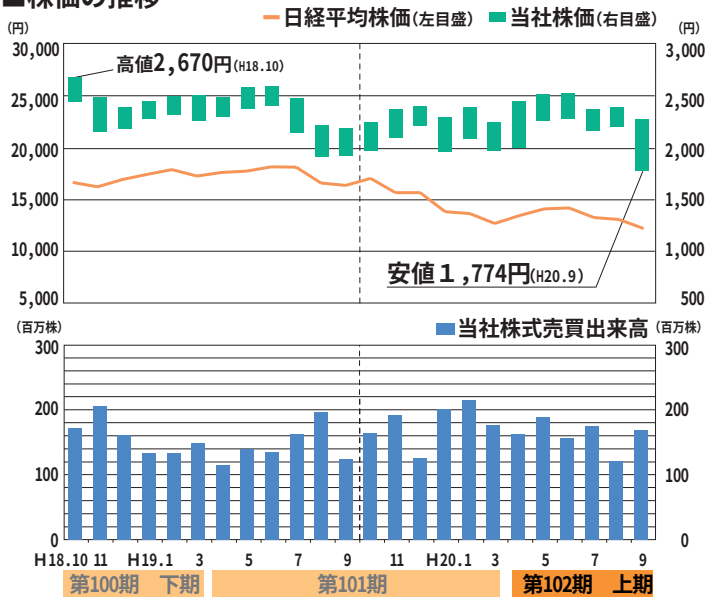
株主名	持株数 (百万株)	出資比率 (%)
モックスレイ・アンド・カンパニー	138	5.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	125	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	97	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	70	2.9
日本生命保険相互会社	67	2.7
株式会社三井住友銀行	57	2.3
ステート　ストリート　バンクアンド　トラスト　カンパニー	46	1.9
三井住友海上火災保険株式会社	35	1.4
松下電器従業員持株会※	34	1.4
住友生命保険相互会社	31	1.3

※平成20年10月で「パナソニック従業員持株会」に名称変更されています

■所有者別分布



■株価の推移



株式事務のご案内

●商号	パナソニック株式会社
●証券コード	6752
●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	6月に開催します。
●定時株主総会の基準日	3月31日
●期末配当金	3月31日最終の株主(登録株式質権者)にお支払いします。
●中間配当金	9月30日最終の株主(登録株式質権者)にお支払いします。
●公告方法	日本経済新聞に掲載します。
●単元株式数	1,000株 なお、平成21年2月1日より100株となります。
●上場取引所	国内…東京・大阪・名古屋 海外…ニューヨーク
●株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番３３号 住友信託銀行株式会社
郵便物の送付先	〒138－8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	(住所変更等用紙のご請求) フリーダイヤル 0120－175－417 (その他のご照会) フリーダイヤル 0120－176－417
●同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店 大和証券株式会社※ 本店・全国各支店 日本証券代行株式会社※ 本店・全国各支店

※平成20年11月27日現在

決算報告などは当社のホームページでご覧になれます。 http://panasonic.co.jp/ir/release/

【株券電子化後の株式に関するお届出先および照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

【株券電子化移行日前後の買取請求および買増請求のお取扱いについて】

株券電子化への移行に伴い、施行日前後における単元未満株式の買取請求および買増請求につきましては、以下のとおりとなりますので、お含みおきいただきますようお願いいたします。

買取請求:

平成20年12月25日から平成21年1月4日までに受付けた分の買取代金のお支払いは平成21年1月26日もしくは30日となります。なお、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたします。

買増請求:

平成20年12月12日から平成21年1月4日までは受付をいたしません。

詳細は、上記電話照会先にお願いいたします。

ホームページのご案内

ホームページをリニューアルしました。

個人投資家向けホームページ　http://panasonic.co.jp/ir/stockholder/

当社ホームページでも皆様に役立つ情報をご覧いただけます。

株主総会

定時株主総会の「招集ご通知」「決議ご通知」「総会の映像（総会後1ヵ月間のみ）」をご覧いただけます。

招集ご通知

株主通信

2000年度の中間報告より最新版までの株主通信を、PDFでご覧いただけます。

株　式

「配当金」「株式事務のご案内」「株式に関するお手続き」などをご覧いただけます。

配当金

業　績

過去3年間の「貸借対照表・損益計算書」をPDFでご覧いただけます。

貸借対照表・損益計算書

いま一度、心からのお願いです。

FF式石油暖房機 1985年 昭和60年 ～ 1992年 平成4年 製を 探しています

平成17年より、製品回収・点検を進めてまいりましたが、いまだ全数把握には至っておりません。

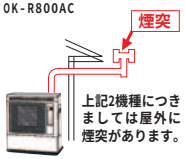
このようなところで見つかっております

■別荘・山小屋　■ご高齢者宅・介護を受けられている方宅
■自治会館・集会所　■屋外の物置・倉庫内

その他、納屋・農作業倉庫内や、ご実家、ご親戚宅、ガレージ、押入れなどで見つかっております。

対象製品には屋外に給排気筒があります。

OK-R800C
OK-R800AC



上記2機種につきましては屋外に煙突があります。

対象製品品番

FF式石油温風機	
1985年(昭和60年)製～1990年(平成2年)製	1991年(平成3年)製～1992年(平成4年)製
OK-2525	OK-3536	OK-302B
OK-2526	OK-3537	OK-303B
OK-2535	OK-4020	OK-402B
OK-2536	OK-4030	OK-403B
OK-3525	OK-2526HA	
OK-3526	OK-3527HA	
OK-3527	OK-4020HA	
OK-3535		

石油フラットラジアントヒーター		
1989年(平成1年)製～1990年(平成2年)製		
OK-R500F	OK-V501F	OK-R800C
OK-R501F	OK-U501AF	OK-R800AC

ご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの『個人情報』は対象製品のお引取り、点検修理の目的以外には使用いたしません。

お問い合わせは、下記専用電話（フリーダイヤル）または、ご購入販売店もしくは最寄りのパナソニックのお店までお願いします。

フリーダイヤル電話（無料）	携帯電話・PHSからもご利用できます	フリーダイヤルFAX（無料）	インターネット
0120-872-773		0120-870-779	http://panasonic.co.jp/

〈受付時間：8時～21時（土・日・祝日を含む）　左記時間外につきましては、留守番電話にて受付させていただきます〉

メモ

もっと世界が、地球が、
輝く発想を。

Panasonicが創るのは、
くらしを輝かせる「アイディア」です。
私たちはいつも新たな発想で、
世界中の人々に明日のライフスタイルをご提案し、
地球の未来と社会の発展のために
貢献しつづけていきます。

平成20年11月27日発行
発行/パナソニック株式会社　　印刷/新日本工業株式会社